

平成 22 年度（2010 年度）

# 第 50 回大会

男子優勝：札幌日大      女子優勝：札幌清田

## 【全道大会寸評】

第 50 回という記念大会になった今年の北海道テニス選手権大会は、雨天のための一日順延を含め 6 月 15 日から 18 日の 4 日間の日程で、北見市東陵運動公園庭球場で開催されました。公式練習日と大会初日は気温が 30 度に達したかと思うと、翌日には雨という天候不順の中、当番校の北見工業高校の教職員や生徒をはじめ、高体連北見支部、北見テニス協会、その他多くの方々のご尽力のおかげで、すばらしい大会にすることができましたこと、心から感謝申し上げます。

本大会の男子団体戦は昨年に続き 2 年連続で札幌日本大学高校が優勝し、女子団体戦は札幌清田高校が 4 年ぶりの優勝となりました。地方勢では、女子の 3 位に帯広三条高校が食い込み健闘しました。

男子ダブルスは丹野・須田組（札幌日大）が優勝し、女子は柳本・花井組（札幌清田）が昨年に続き連覇を果たしました。

男子シングルスは丹野翔太（札幌日大）が昨年に続き連覇を果たすとともに、男子では 5 年ぶりの団体・ダブルス・シングルの三冠を果たし、全国高校総体では昨年以上の活躍が期待されます。女子シングルスは土屋梨沙（札幌西）が優勝し、札幌西高校からは 13 年ぶりの優勝者となりました。

以上、各選手の全国高校総体での活躍を期待したいと思います。

## 【全国大会】

沖縄県那覇市で行われた今年度のインターハイは、暑さもさることながら、突然降りだす豪雨のために、試合が何度も中断されるなど、各選手にとってはコンディションの難しい大会であった。

女子団体戦では札幌清田がベスト 16 に入る好成績を取めた。札幌清田は 1 回戦で作新学院（栃木）に対し、エース柳本を中心に 3 - 0 で快勝、2 回戦では九州の福德学院（大分）に、ダブルス及川・花井組がタイブレイクの末に勝利、シングルス NO 1 は敗退したものの、NO 2 伊藤がどちらに転ぶかわからない大接戦を、粘り強いプレーと勝負強さを発揮して制した。3 回戦ではシード校の岡山学芸館に力負け、敗退した。男子団体戦 1 回戦で近畿地区の強豪校慶風（和歌山）と対戦した札幌日大は、ダブルスを落とす厳しい展開から、シングルス NO 1 丹野、NO 2 平井が勝利し、初戦を突破した。2 回戦の地元沖縄尚学戦にも期待がかかったが、ダブルスが惜敗、シングルス NO 1 は勝ったものの、勝負がかかった NO 2 は長い試合になったが、相手選手のプレーが冴え、残念ながら敗退した。

個人戦では、シングルスで、男子は平井（札幌日大）、村上（旭川高専）が、女子は土屋（札幌西）が、ダブルスでは、男子の丹野・須田組（札幌日大）が 1 回戦を突破するにとどまり、上位進出は果たすことはできなかった。今回の個人戦には 1・2 年生が 4 名参加しており、来年度のインターハイでの上位進出に期待がかかる。

全国高校総体 [第 100 回全国高等学校テニス選手権大会] 沖縄県

「晴天届く君の風 みなぎる闘志が夏に輝く」 美ら海沖縄総体 2010

7 月 29 日～8 月 6 日 奥武山・漫湖・新都心

男子 個人戦シングルス 優勝 : 小野 陽平 (岡山・関西)

女子 個人戦シングルス 優勝 : 布目 千尋 (和歌山・慶風)